

町民にインタビュー

かわぐち

ともき

河口 知規さん (奉賛)

大地に根ざして生きている。
今が人生で一番幸せ!



- 出身地とお住まいは —
山口県生まれ。大阪府から2014年7月に御影へ移住しました。
- 以前はどのような仕事をされていたか —
福祉施設で子どもたちや障がいのある方などのお世話、身体障がい者施設の立ち上げもしてきました。
- 移住したきっかけは —
退職後、初の北海道旅行で大地の広さに感動し、親戚が帯広にいた縁もあり自然豊かな清水町を選びました。
- 実際に住んでみて —
大阪と比べ北海道は寒くて人の住む場所ではないと思っていましたが、清水は心温かい人が多い幸せな街。地域の人と繋がりを持つ
- 今後、どのようなことをしたいですか —
自分と似た境遇の人と地域、行政等が繋がり、安心して暮らせる仕組みを整えるのが希望です。
- 町政に望むことは —
地場製品の加工施設を作り、グルメ開発をして全国に発信するなど、夢のあることが出来たらいいと思います。
- 町議会に対し要望は —
独居高齢者に対応するシステムや不法投棄の問題を行政と一体となり解決することを考えて欲しいです。

次の定例議会は

開会
3月11日

3月の定例議会は、3月11日に開会を予定しています。

詳細は、3月上旬に発行する新聞チラシ折込をご覧ください。

インターネットでも生中継や録画中継がご覧になれます。

傍聴される方は、マスクの着用、手指の消毒、人との間隔をあけるなどの感染症対策にご協力ください。

表紙の写真

御影地区、清水地区、それぞれ開催した模様の写真です。御影地区、清水地区とも町民の皆さんからのご意見をいただき、答弁担当がお答えするという形でしたが、両会場ともに活発なご意見を頂き、大変有意義な意見交換となりました。頂いたご意見は今後の議会運営に反映させる等していきたいと思っております。



表紙担当：広報広聴常任委員 佐藤 幸一

